大学番号 039

注３

設置年度　　令和　　２年度

計画の区分：　研究科の専攻の設置又は課程の変更　**事前伺い**

注１

福井大学大学院　工学研究科　安全社会基盤工学専攻（博士前期課程）

注２

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人福井大学
令和３年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名	経営企画部経営戦略課
職名・氏名	企画担当（キカクタントウ） 主査（シュサ）・増永（マスナガ） 貴子（タカコ）
電話番号	０７７６−２７−８０５５
（夜間）	０７７６−２７−８０５５
ｅ−mail	s-keiei@ad.u-fukui.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和３年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学研究科

＜安全社会基盤工学専攻＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３５
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３６

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

国立大学法人 福井大学

（２）大　学　名

福井大学大学院

（３）調査対象大学等の位置

〒９１０－８５０７
福井県福井市文京３丁目９番１号

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
学　　長	（ ウエダ　タカノリ ） 上田　孝典 （平成31年４月）		
研究科長	（ フクイ　カズトシ ） 福井　一俊 （平成30年４月）		
専 攻 長	（ タマガワ　ヨウイチ ） 玉川　洋一 （令和２年４月）	（ ヤマダ　ヤスヒロ ） 山田　泰弘 （令和３年４月）	令和３年３月31日任期満了に伴い交代（３）

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和２年度に報告済の内容　→（２）
令和３年度に報告する内容　→（３）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
・　様式は、平成２９年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和２年度までの５年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
工学研究科 安全社会基盤工学専攻 修士（工学）	工学関係	2年	84人	年次 －　人	168人	新規入学者を募集中	

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
Ａ　入学定員	人 （　） ［　］	人	人 （　） ［　］	人	人 （　） ［　］	人	84人 84 （－） ［若干名］	－人	84人 84 （－） ［若干名］	－人	1.04倍	－倍	
志願者数	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	96 （－） ［6］	1 （－） ［1］	86 （－） ［3］	（　） ［　］			
受験者数	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	96 （－） ［6］	1 （－） ［1］	86 （－） ［3］	（　） ［　］			
合格者数	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	92 （－） ［6］	1 （－） ［1］	86 （－） ［3］	（　） ［　］			
Ｂ　入学者数	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	90 （－） ［6］	1 （－） ［1］	84 （－） ［3］	（　） ［　］			
入学定員超過率 Ｂ／Ａ							1.08		1.00				

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　［　］内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和３年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次							90 [6] (－)	1 [1] (－)	84 [3] (－)	[ ] ( )	
２年次									89 [6] (－)	[ ] ( )	
３年次											
４年次											
計	[ ] ( )		[ ] ( )		[ ] ( )		91 [7] (－)		173 [9] (－)		

・令和３年５月１日　公表

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。

・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	退学者数	うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	91 人	1 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	1 人	0 人	就職（1名）
令和3年度	173 人	0 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合　計		1 人		1 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\text{\#DIV/0!}}\ \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\text{\#DIV/0!}}\ \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\text{\#DIV/0!}}\ \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{91} = \boxed{1.09}\ \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{173} = \boxed{0}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜工学研究科　安全社会基盤工学専攻＞

（１）ー① 授業科目表

国立大学法人 福井大学

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通科目	共通科目A群	外国語科目	科学英語コミュニケーションⅠ	1前	1								兼3
			科学英語コミュニケーションⅡ	1後	1								兼2
			科学英語表現Ⅰ	2前		1							兼1
			科学英語表現Ⅱ	2後		1							兼3
			科学英語特別講義	2前		2							兼2
	共通科目B群	インターンシップ科目	大学院海外短期インターンシップⅠ	1～2前後		1		1					
			大学院海外短期インターンシップⅡ	1～2前後		2		1					
			長期インターンシップ	1～2前後		4		1					
		PBL科目	PBLⅠ	1～2前後		2			1				
			PBLⅡ	1～2前後		4			1				
		生命科学科目	生命複合科学特論Ⅰ	1前		2			1				兼14
			生命複合科学特論Ⅱ	1後		2		1					兼14
		留学生向科目	工業日本語特論Ⅰ	1前		2							兼1
			工業日本語特論Ⅱ	1後		2							兼1
			小計(14科目)	－	2	25	0	3	1	0	0	0	兼33
専攻共通科目			安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ	1前	4			24	18	5	1		
			安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ	1後	4			24	18	5	1		
			安全社会基盤工学特別講義Ⅰ	1前		2		1					
			安全社会基盤工学特別講義Ⅱ	1後		2		1					
			安全社会基盤工学ゼミナールⅠ	1通		2		24	18	5	1		
			安全社会基盤工学ゼミナールⅡ	2通		2		24	18	5	1		
			小計(6科目)	－	8	8	0	24	18	5	1	0	
専攻科目群	社会インフラ科目群		社会インフラ概論	1前		2		3	9	2	1		
			量子エネルギー応用論	1前		2							兼14
			半導体デバイス	1後		2		1					
			電子物性特論	1前		2		1					
			システム工学特論	1前		2			1				
			信号処理特論	1前		2			1				
			計算科学	1前		2			1				
			計算機工学特論	1後		2					1		
			建築弾塑性力学	1前		2			1				
			建築都市計画特論	1前		2			1				
			都市論	1前		2			1				
			都市計画特論	1後		2		1					
			土木構造特論	1前		2			1				
			構造材料学	1前		2				1			
			日本建築史特論	1後		2				1			
			建築計画学特論	1前		2			1				
			建築インターンシップ	1～2前後		4				1			
	エネルギー科目群		エネルギー概論	1後		2		4	4	1	1		
			エネルギー輸送	1後		2		1					
			数値流体力学	1前		2			1				
			燃焼工学	1後		2			1				
			統計力学	1前		2				1			
			エネルギー工学特論	1前		2		1					
			パワーエレクトロニクス特論	1後		2			1				
			電力システム	1前		2					1		
			熱事象・エネルギーシステム	1後		2		1					
			原子炉システム基礎Ⅰ	1前		2		4	1				
			原子炉システム基礎Ⅱ	1後		2		4	1				
			核燃料サイクル実習	1後		2			1				
			原子炉実習	2前		2			1	1			
			原子炉物理学	1後		2			1				
			次世代炉システム	1前		2			1				兼1
			熱水力安全工学	1後		2		1					兼1
			原子力材料学特論	1後		2		1					
			核燃料工学特論	1後		2		2					
			プラント安全工学基礎Ⅰ	1前		2		1	2				

【令和３年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通科目	共通科目A群	外国語科目	科学英語コミュニケーションⅠ	1前	1								兼3
			科学英語コミュニケーションⅡ	1後	1								**兼3**
			科学英語表現Ⅰ	2前		1							兼1
			科学英語表現Ⅱ	2後		1							兼3
			科学英語特別講義	2前		2							兼2
	共通科目B群	インターンシップ科目	大学院海外短期インターンシップⅠ	1～2前後		1		1					
			大学院海外短期インターンシップⅡ	1～2前後		2		1					
			長期インターンシップ	1～2前後		4		1					
		PBL科目	PBLⅠ	1～2前後		2			1				
			PBLⅡ	1～2前後		4			1				
		生命科学科目	生命複合科学特論Ⅰ	1前		2			1				兼14
			生命複合科学特論Ⅱ	1後		2		1					兼14
		留学生向科目	工業日本語特論Ⅰ	1前		2							兼1
			工業日本語特論Ⅱ	1後		2							兼1
			小計(14科目)	－	2	25	0	3	1	0	0	0	兼33
専攻共通科目			安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ	1前	4			**23**	**20**	**6**	**2**		
			安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ	1後	4			**23**	**20**	**6**	**2**		
			安全社会基盤工学特別講義Ⅰ	1前		2		1					
			安全社会基盤工学特別講義Ⅱ	1後		2		1					
			安全社会基盤工学ゼミナールⅠ	1通		2		**23**	**20**	**6**	**2**		
			安全社会基盤工学ゼミナールⅡ	2通		2		**23**	**20**	**6**	**2**		
			小計(6科目)	－	8	8	0	**23**	**20**	**6**	**2**	0	
専攻科目群	社会インフラ科目群		社会インフラ概論	1前		2		3	**8**	2	1		
			量子エネルギー応用論	1前		2							兼14
			半導体デバイス	1後		2			**1**				
			電子物性特論	1前		2		1					
			システム工学特論	1前		2			1				
			信号処理特論	1前		2			1				
			計算科学	1前		2			1				
			計算機工学特論	1後		2					1		
			建築弾塑性力学	1前		2			1				
			建築都市計画特論	1前		2			1				
			都市論	1前		2			1				
			都市計画特論	1後		2		1					
			土木構造特論	1前		2			1				
			構造材料学	1前		2				1			
			日本建築史特論	1後		2				1			
			建築計画学特論**(未開講)**	1前		2							
			建築インターンシップ	1～2前後		4				1			
	エネルギー科目群		エネルギー概論	1後		2		4	**2**	1	1		
			エネルギー輸送	1後		2			**1**				
			数値流体力学	1前		2			1				
			燃焼工学	1後		2							**兼1**
			統計力学	1前		2				1			
			エネルギー工学特論	1前		2		1					
			パワーエレクトロニクス特論	1後		2			1				
			電力システム	1前		2					1		
			熱事象・エネルギーシステム	1後		2		1					
			原子炉システム基礎Ⅰ	1前		2		4	1				
			原子炉システム基礎Ⅱ	1後		2		4	1				
			核燃料サイクル実習	1後		2				**1**			
			原子炉実習	2前		2			1	1			
			原子炉物理学	1後		2			1				
			次世代炉システム	1前		2			1				兼1
			熱水力安全工学	1後		2		1					兼1
			原子力材料学特論	1後		2		1					
			核燃料工学特論	1後		2		2					
			プラント安全工学基礎Ⅰ	1前		2		1	**1**	**1**			

専攻科目群	エネルギー科目群	プラント安全工学基礎Ⅱ	1後		2		1	1				
		原子力の安全性と地域共生	1前		2		2	1				
		原子力プラント設計工学	1前		2		1					
		原子力プラント保全工学	1後		2							兼2
	リスクマネージメント科目群	リスクマネージメント概論	1前		2		5	3	1			
		安全安心の熱流体工学	1後		2			1				
		地震工学特論	1前		2		1					
		国土・地域計画特論	1前		2					1		
		原子力・エネルギー法規	1前		2		1					
		原子力規制	1後		2		1					
		放射線基礎Ⅰ	1前		2		1					
		放射線基礎Ⅱ	1後		2		2		1			
		放射化学特論	1前		2		1					
		放射線化学・生物学特論	1後		2		1		1			
		原子力防災特論	1前		2		1	1				
		放射線物理学・計測学	1前		2		1		1			
		放射線利用	1前		2		3		1			
		リスク評価特論	1後		2			1				
		廃止措置・廃棄物管理工学	1後		2			1				
		原子力・耐震耐津波工学特論	1前		2			1				
	安全設計科目群	安全設計概論	1後		2		7	2	4	1		
		計算機援用制御系設計	1前		2			1				
		機械システム工学	1前		2		1					
		機械動力学	1後		2				1			
		破壊力学	1前		2		1					
		破壊力学実習	1後		2		1					
		ロボット工学	1後		2			1				
		回路・システム論	1後		2			1				
		システム制御論	1前		2		1					
		暗号と情報セキュリティ	1後		2		1					
		構造振動解析	1前		2		1					
		建築構造設計学	1後		2		1					
		建築耐震構造解析学	1後		2		1					
		建築都市設計論	1前		2				1			
		地盤解析学	1前		2				1			
		環境水理学	1後		2					1		
		交通論	1後		2		1					
		建築換気力学	1前		2				1			
		光環境工学特論	1後		2		1					
		原子力工学基礎Ⅰ	1前		2		5		2			
		原子力工学基礎Ⅱ	1後		2		2					
		小計(77科目)	－	0	156	0	24	19	9	4	0	兼16
		(研究指導)	－	－			24	17	5	1	0	
		小計	－	－			24	17	5	1	0	
合計(97科目)			－	10	189	0	27	20	9	4	0	兼50

卒業要件及び履修方法

［修了要件］
当該課程に２年以上在学し，次の条件を満たすように合計30単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上で，修士論文又は特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格しなければならない。

１）工学研究科共通科目
必修科目２単位：科学英語コミュニケーションⅠ，
科学英語コミュニケーションⅡ

２）自専攻科目
イ　必修科目８単位：安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ，
安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ
ロ　選択科目14単位：４つの科目群からそれぞれ２単位，及び各コースが指定する２つの重点科目群から合わせて６単位の計14単位

３）１）及び２）で修得した単位以外に，工学研究科共通科目，自専攻科目，他専攻科目（必修以外）から６単位以上

［履修方法］
・各コースの学生は，自専攻の４つの科目群からそれぞれ１科目２単位を履修すること。
・機械設計工学コースの学生は，安全設計科目群とエネルギー科目群の２科目群から合わせて３科目６単位を履修すること。
・電気システム工学コースの学生は，エネルギー科目群と社会インフラ科目群の２科目群から合わせて３科目６単位を履修すること。
・建築土木環境工学コースの学生は，社会インフラ科目群と安全設計科目群の２科目群から合わせて３科目６単位を履修すること。
・原子力安全工学コースの学生は，リスクマネージメント科目群とエネルギー科目群の２科目群から合わせて３科目６単位を履修すること。

専攻科目群	エネルギー科目群	プラント安全工学基礎Ⅱ	1後		2		1		1			
		原子力の安全性と地域共生	1前		2		2	1				
		原子力プラント設計工学	1前		2		1					
		原子力プラント保全工学	1後		2							兼2
	リスクマネージメント科目群	リスクマネージメント概論	1前		2		5	3	1			
		安全安心の熱流体工学	1後		2		1					
		地震工学特論	1前		2		1					
		国土・地域計画特論	1前		2					1		
		原子力・エネルギー法規	1前		2		1					
		原子力規制	1後		2		1					
		放射線基礎Ⅰ	1前		2		1					
		放射線基礎Ⅱ	1後		2		2	1				
		放射化学特論	1前		2		1					
		放射線化学・生物学特論	1後		2		1	1				
		原子力防災特論	1前		2		1	1				
		放射線物理学・計測学	1前		2		1		1			
		放射線利用	1前		2		3	1				
		リスク評価特論	1後		2				1			
		廃止措置・廃棄物管理工学	1後		2				1			
		原子力・耐震耐津波工学特論	1前		2			1				
	安全設計科目群	安全設計概論	1後		2		7	4	3			
		計算機援用制御系設計	1前		2			1				
		機械システム工学	1前		2		1					
		機械動力学	1後		2			1				
		破壊力学	1前		2		1					
		破壊力学実習	1後		2		1					
		ロボット工学	1後		2			1				
		回路・システム論	1後		2			1				
		システム制御論	1前		2		1					
		暗号と情報セキュリティ	1後		2		1					
		構造振動解析	1前		2		1					
		建築構造設計学	1後		2		1					
		建築耐震構造解析学	1後		2		1					
		建築都市設計論	1前		2				1			
		地盤解析学	1前		2			1				
		環境水理学	1後		2				1			
		交通論	1後		2		1					
		建築換気力学	1前		2				1			
		光環境工学特論	1後		2		1					
		原子力工学基礎Ⅰ	1前		2		5	1	1			
		原子力工学基礎Ⅱ	1後		2		2					
		小計(77科目)	－	0	156	0	23	19	8	3	0	兼18
		(研究指導)	－	－			23	20	6	2	0	
		小計	－	－			23	20	6	2	0	
合計(97科目)			－	10	189	0	26	21	8	4	0	兼51

卒業要件及び履修方法

［修了要件］
当該課程に２年以上在学し，次の条件を満たすように合計30単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上で，修士論文又は特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格しなければならない。

１）工学研究科共通科目
必修科目２単位：科学英語コミュニケーションⅠ，
科学英語コミュニケーションⅡ

２）自専攻科目
イ　必修科目８単位：安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ，
安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ
ロ　選択科目14単位：４つの科目群からそれぞれ２単位，及び各コースが指定する２つの重点科目群から合わせて６単位の計14単位

３）１）及び２）で修得した単位以外に，工学研究科共通科目，自専攻科目，他専攻科目（必修以外）から６単位以上

［履修方法］
・各コースの学生は，自専攻の４つの科目群からそれぞれ１科目２単位を履修すること。
・機械設計工学コースの学生は，安全設計科目群とエネルギー科目群の２科目群から合わせて３科目６単位を履修すること。
・電気システム工学コースの学生は，エネルギー科目群と社会インフラ科目群の２科目群から合わせて３科目６単位を履修すること。
・建築土木環境工学コースの学生は，社会インフラ科目群と安全設計科目群の２科目群から合わせて３科目６単位を履修すること。
・原子力安全工学コースの学生は，リスクマネージメント科目群とエネルギー科目群の２科目群から合わせて３科目６単位を履修すること。

【令和２年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通科目	共通科目A群	外国語科目	科学英語コミュニケーションⅠ	1前	1								兼3
			科学英語コミュニケーションⅡ	1後	1								兼3
			科学英語表現Ⅰ	2前		1							兼1
			科学英語表現Ⅱ	2後		1							兼3
			科学英語特別講義	2前		2							兼2
	共通科目B群	インターンシップ科目	大学院海外短期インターンシップⅠ	1～2前後		1		1					
			大学院海外短期インターンシップⅡ	1～2前後		2		1					
			長期インターンシップ	1～2前後		4		1					
		PBL科目	PBLⅠ	1～2前後		2			1				
			PBLⅡ	1～2前後		4			1				
		生命科学科目	生命複合科学特論Ⅰ	1前		2			1				兼14
			生命複合科学特論Ⅱ	1後		2		1					兼14
		留学生向科目	工業日本語特論Ⅰ	1前		2							兼1
			工業日本語特論Ⅱ	1後		2							兼1
			小計（14科目）	－	2	25	0	3	1	0	0	0	兼33
専攻共通科目			安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ	1前	4			23	18	5	1		
			安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ	1後	4			23	18	5	1		
			安全社会基盤工学特別講義Ⅰ	1前		2		1					
			安全社会基盤工学特別講義Ⅱ	1後		2		1					
			安全社会基盤工学ゼミナールⅠ	1通		2		23	18	5	1		
			安全社会基盤工学ゼミナールⅡ	2通		2		23	18	5	1		
			小計（6科目）	－	8	8	0	23	18	5	1	0	
専攻科目群	社会インフラ科目群		社会インフラ概論	1前		2		3	9	2	1		
			量子エネルギー応用論	1前		2							兼14
			半導体デバイス	1後		2			1				
			電子物性特論	1前		2		1					
			システム工学特論	1前		2			1				
			信号処理特論	1前		2			1				
			計算科学	1前		2			1				
			計算機工学特論	1後		2					1		
			建築弾塑性力学	1前		2			1				
			建築都市計画特論	1前		2			1				
			都市論	1前		2			1				
			都市計画特論	1後		2		1					
			土木構造特論	1前		2			1				
			構造材料学	1前		2				1			
			日本建築史特論	1後		2				1			
			建築計画学特論	1前		2			1				
			建築インターンシップ	1～2前後		4				1			
	エネルギー科目群		エネルギー概論	1後		2		4	4	1	1		
			エネルギー輸送	1後		2		1					
			数値流体力学	1前		2			1				
			燃焼工学	1後		2			1				
			統計力学	1前		2				1			
			エネルギー工学特論	1前		2		1					
			パワーエレクトロニクス特論	1後		2			1				
			電力システム	1前		2					1		
			熱事象・エネルギーシステム	1後		2		1					
			原子炉システム基礎Ⅰ	1前		2		4	1				
			原子炉システム基礎Ⅱ	1後		2		4	1				
			核燃料サイクル実習	1後		2				1			
			原子炉実習	2前		2			1	1			
			原子炉物理学	1後		2			1				
			次世代炉システム	1前		2			1				兼1
			熱水力安全工学	1後		2		1					兼1

専攻科目群	エネルギー科目群	原子力材料学特論	1後		2		1					
		核燃料工学特論	1後		2		2					
		プラント安全工学基礎Ⅰ	1前		2		1	1	1			
		プラント安全工学基礎Ⅱ	1後		2		1		1			
		原子力の安全性と地域共生	1前		2		2	1				
		原子力プラント設計工学	1前		2		1					
		原子力プラント保全工学	1後		2							兼2
	リスクマネージメント科目群	リスクマネージメント概論	1前		2		5	3	1			
		安全安心の熱流体工学	1後		2			1				
		地震工学特論	1前		2		1					
		国土・地域計画特論	1前		2					1		
		原子力・エネルギー法規	1前		2		1					
		原子力規制	1後		2		1					
		放射線基礎Ⅰ	1前		2		1					
		放射線基礎Ⅱ	1後		2		2	1				
		放射化学特論	1前		2		1					
		放射線化学・生物学特論	1後		2		1	1				
		原子力防災特論	1前		2		1	1				
		放射線物理学・計測学	1前		2		1		1			
		放射線利用	1前		2		3	1				
		リスク評価特論	1後		2				1			
		廃止措置・廃棄物管理工学	1後		2				1			
		原子力・耐震耐津波工学特論	1前		2			1				
	安全設計科目群	安全設計概論	1後		2		7	2	4	1		
		計算機援用制御系設計	1前		2			1				
		機械システム工学	1前		2		1					
		機械動力学	1後		2				1			
		破壊力学	1前		2		1					
		破壊力学実習	1後		2		1					
		ロボット工学	1後		2			1				
		回路・システム論	1後		2			1				
		システム制御論	1前		2		1					
		暗号と情報セキュリティ	1後		2		1					
		構造振動解析	1前		2		1					
		建築構造設計学	1後		2		1					
		建築耐震構造解析学	1後		2		1					
		建築都市設計論	1前		2				1			
		地盤解析学	1前		2				1			
		環境水理学	1後		2					1		
		交通論	1後		2		1					
		建築換気力学	1前		2				1			
		光環境工学特論	1後		2		1					
		原子力工学基礎Ⅰ	1前		2		5	1	1			
		原子力工学基礎Ⅱ	1後		2		2					
		小計(77科目)	－	0	156	0	23	19	9	4	0	兼17
		(研究指導)	－	－			23	18	5	1	0	
		小計	－	－			23	18	5	1	0	
合計(97科目)			－	10	189	0	26	20	9	4	0	兼50

卒業要件及び履修方法
［修了要件］ 当該課程に２年以上在学し，次の条件を満たすように合計30単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上で，修士論文又は特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格しなければならない。 １）工学研究科共通科目 必修科目２単位：科学英語コミュニケーションⅠ， 科学英語コミュニケーションⅡ ２）自専攻科目 イ　必修科目８単位：安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ， 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ ロ　選択科目14単位：４つの科目群からそれぞれ２単位，及び各コースが指定する２つの重点科目群から合わせて６単位の計14単位 ３）１）及び２）で修得した単位以外に，工学研究科共通科目，自専攻科目，他専攻科目（必修以外）から６単位以上 ［履修方法］ ・各コースの学生は，自専攻の４つの科目群からそれぞれ１科目２単位を履修すること。 ・機械設計工学コースの学生は，安全設計科目群とエネルギー科目群の２科目群から合わせて３科目６単位を履修すること。 ・電気システム工学コースの学生は，エネルギー科目群と社会インフラ科目群の２科目群から合わせて３科目６単位を履修すること。 ・建築土木環境工学コースの学生は，社会インフラ科目群と安全設計科目群の２科目群から合わせて３科目６単位を履修すること。 ・原子力安全工学コースの学生は，リスクマネージメント科目群とエネルギー科目群の２科目群から合わせて３科目６単位を履修すること。

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（令和元年度開設であれば平成３０年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・　専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【令和２年度】

・教育効果向上のため教員体制を見直し、「科学英語コミュニケーションⅡ」の兼任教員の配置を「兼２→３」に変更。
・教員の退職のため教員体制を見直し、「安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ」、「安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ」、「安全社会基盤工学ゼミナールⅠ」、「安全社会基盤工学ゼミナールⅡ」の専任教員の配置を「教授２４→２３」に変更。
・教員の退職のため教員体制を見直し、「半導体デバイス」の専任教員の配置を「教授1→０、准教授０→１」に変更。
・事務的ミスが判明したため、「核燃料サイクル実習」、「プラント安全工学基礎Ⅱ」、「リスク評価特論」、「廃止措置・廃棄物管理工学」の専任教員の配置を「准教授１→０、講師０→１」に訂正。
・事務的ミスが判明したため、「プラント安全工学基礎Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授２→１、講師０→１」に訂正。
・教員の昇格のため教員体制を見直し、「放射線基礎Ⅱ」、「放射線化学・生物学特論」、「放射線利用」の専任教員の配置を「准教授０→１、講師１→０」に変更。
・教員の昇格のため教員体制を見直し、「原子力工学基礎Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授０→１、講師２→１」に変更。

【令和３年度】

・教員の採用、退職、昇格及び担当資格取得のため教員体制を見直し、「安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ」、「安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ」、「安全社会基盤工学ゼミナールⅠ」、「安全社会基盤工学ゼミナールⅡ」の専任教員の配置を「准教授１８→２０、講師５→６、助教１→２」に変更。
・教員の退職のため教員体制を見直し、「社会インフラ概論」の専任教員の配置を「准教授９→８」に変更。
・教員の退職及び昇格のため教員体制を見直し、「エネルギー概論」の専任教員の配置を「准教授４→２」に変更。
・教員の採用及び退職のため教員体制を見直し、「エネルギー輸送」の専任教員の配置を「教授１→０、准教授０→１」に変更。
・教員の退職のため教員体制を見直し、「燃焼工学」の教員の配置を「准教授1→０、兼０→１」に変更。
・教員の昇格のため教員体制を見直し、「安全安心の熱流体工学」の専任教員の配置を「教授０→１、准教授１→０」に変更。
・教員の昇格のため教員体制を見直し、「安全設計概論」の専任教員の配置を「准教授２→４、講師４→３、助教１→０」に変更。
・教員の昇格のため教員体制を見直し、「機械動力学」、「地盤解析学」の専任教員の配置を「准教授０→１、講師１→０」に変更。
・教員の昇格のため教員体制を見直し、「環境水理学」の専任教員の配置を「講師０→１、助教１→０」に変更。

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
4 科目	93 科目	0 科目	97 科目	4 科目 [0]	93 科目 [0]	0 科目 [0]	97 科目 [0]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［　］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	建築計画学特論	2	1	専門	選択	後任教員の授業担当資格審査が間に合わなかったため
2						
3						

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目　　該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当科目については今年度、未開講となっていることを、掲示（オンライン含む）及び時間割等で全学生に周知済である。また、該当科目が今年度開講されていなくても、同分野同条件の科目が他に７科目あること、及び次年度は開講予定であることから、修了要件を満たすことは問題ないと判断している。

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{1}{97} = 1.03\%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
（1）校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	駐車場、緑地、道路等の面積の見直し及び附置研究所を校舎に変更したため（２）
	校舎敷地	267,793㎡ ~~267,651㎡~~	0㎡	0㎡	267,793㎡ ~~267,651㎡~~	
	運動場用地	94,273㎡	0㎡	0㎡	94,273㎡	
	小計	362,066㎡ ~~361,924㎡~~	0㎡	0㎡	362,066㎡ ~~361,924㎡~~	
	その他	180,918㎡ ~~181,060㎡~~	0㎡	0㎡	180,918㎡ ~~181,060㎡~~	
	合計	542,984㎡	0㎡	0㎡	542,984㎡	
（2）校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	附置研究所を校舎に変更したため（２） 大学会館及び便所取壊し（計983㎡）による減。大学会館は国際センター（仮称）として新営し、令和３年９月完成予定。（３）
		144,470㎡ ~~145,453㎡~~ ~~138,456㎡~~	0㎡	0㎡	144,470㎡ ~~145,453㎡~~ ~~138,456㎡~~	
		（144,470㎡） ~~（145,453㎡）~~ ~~（138,456㎡）~~	（0㎡）	（0㎡）	（144,470㎡） ~~（145,453㎡）~~ ~~（138,456㎡）~~	

（3）教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体
	72室 ~~71室~~	99室	426室	18室 （補助職員　3人）	4室 （補助職員　3人）	研究室、教員室を講義室に改修したため（２）

（4）専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	備考
	工学研究科　安全社会基盤工学専攻	59 ~~60~~ 室	令和２年３月専任教授１名が退職のため（２）

（5）図書・設備	新設学部等の名称	図書〔うち外国書〕 冊	学術雑誌〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	工学研究科 安全社会基盤工学専攻	685,323〔204,365〕 ~~677,450〔203,350〕~~ (680,915〔202,478〕) ~~(663,311〔201,333〕)~~	35,700〔20,500〕 ~~32,700〔19,450〕~~ (35,260〔21,183〕) ~~(32,516〔19,308〕)~~	18,500〔15,700〕 ~~15,500〔14,000〕~~ (16,890〔15,495〕) ~~(15,344〔14,032〕)~~	5,700 （5,388） ~~（5,436）~~	6,000 （5,893）	1 （1）	研究科単位での特定不能なため，大学全体の数 再集計したため（３）
	計	685,323〔204,365〕 ~~677,450〔203,350〕~~ (680,915〔202,478〕) ~~(663,311〔201,333〕)~~	35,700〔20,500〕 ~~32,700〔19,450〕~~ (35,260〔21,183〕) ~~(32,516〔19,308〕)~~	18,500〔15,700〕 ~~15,500〔14,000〕~~ (16,890〔15,495〕) ~~(15,344〔14,032〕)~~	5,700 （5,388） ~~（5,436）~~	6,000 （5,893）	1 （1）	

（6）図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	大学全体
	8,653㎡	827	788,333	

（7）体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要	大学全体
	3,929㎡	屋外球技コート，プール，野球場	

（8）経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	備考
経費の見積り	教員１人当り研究費等	－　千円	－　千円	図書購入費	－　千円	－　千円	－　千円	国費（運営費交付金）による
	共同研究費等	－　千円	－　千円	設備購入費	－　千円	－　千円	－　千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	－　千円	－　千円	－　千円	－　千円	－　千円	－　千円

学生納付金以外の維持方法の概要	

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和３年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（２）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	福井大学						学生募集停止学科数	10	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
国立大学法人	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
教育学部	4	100	－	400	学士（教育学）	1.03	1.09	－	－	－	
学校教育課程	4	100	－	400	学士（教育学）	1.03	1.09	－	平成28	福井県福井市文京３丁目９番１号	
教育地域科学部	4	－	－	－		－	－	－	－	－	
学校教育課程	4	－	－	－	学士（教育学）	－	－	－	平成11	福井県福井市文京３丁目９番１号	平成28年度より学生募集停止
地域科学課程	4	－	－	－	学士（地域科学）	－	－	－	平成20	同上	平成28年度より学生募集停止
医学部		170	２年次 5	925		1.01	1.00	－	－	－	
医学科	6	110	２年次 5	685	学士（医学）	1.00	1.00	令和２	昭和55	福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23号３番地	
看護学科	4	60	－	240	学士（看護学）	1.03	1.01	－	平成9	同上	
工学部	4	525	３年次 40	2180	学士（工学）	1.02	1.04	－	－	－	
機械・ｼｽﾃﾑ工学科	4	155	３年次 10	640	学士（工学）	1.02	1.07	－	平成28	福井県福井市文京３丁目９番１号	
電気電子情報工学科	4	125	３年次 20	540	学士（工学）	1.02	1.07	－	平成28	同上	
建築・都市環境工学科	4	60	３年次 10	260	学士（工学）	1.05	1.05	－	平成28	同上	
物質・生命化学科	4	135	－	540	学士（工学）	1.02	1.00	－	平成28	同上	
応用物理学科	4	50	－	200	学士（工学）	1.05	1.04	－	平成28	同上	
機械工学科	4	－	－	－	学士（工学）	－	－	－	平成11	同上	平成28年度より学生募集停止
電気・電子工学科	4	－	－	－	学士（工学）	－	－	－	平成11	同上	平成28年度より学生募集停止
情報・ﾒﾃﾞｨｱ工学科	4	－	－	－	学士（工学）	－	－	－	平成11	同上	平成28年度より学生募集停止
建築建設工学科	4	－	－	－	学士（工学）	－	－	－	平成11	同上	平成28年度より学生募集停止
材料開発工学科	4	－	－	－	学士（工学）	－	－	－	平成11	同上	平成28年度より学生募集停止
生物応用化学科	4	－	－	－	学士（工学）	－	－	－	平成11	同上	平成28年度より学生募集停止
物理工学科	4	－	－	－	学士（工学）	－	－	－	平成11	同上	平成28年度より学生募集停止
知能ｼｽﾃﾑ工学科	4	－	－	－	学士（工学）	－	－	－	平成11	同上	平成28年度より学生募集停止
国際地域学部	4	60	－	240	学士（国際地域）	1.04	1.06	－	平成28		
国際地域学科	4	60	－	240	学士（国際地域）	1.04	1.06	－	平成28	福井県福井市文京３丁目９番１号	
大学全体	－	855	45	3745	－	－	－	－	－	－	

大学の名称	福井大学大学院						学生募集停止学科数	8	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	2	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
教育学研究科											
学校教育専攻（修士課程）	2	－	－	－	修士（教育学）	－	－	－	平成20	福井県福井市文京３丁目９番１号	令和２年度より学生募集停止
福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学連合教職開発研究科											
教職開発専攻（専門職学位課程）	2	60	－	120	教職修士（専門職）	0.95	0.81	－	平成30	福井県福井市文京３丁目９番１号	令和２年度入学定員増（20人）
医学系研究科											
看護学専攻（修士課程）	2	12	－	24	修士（看護学）	0.66	0.58	－	平成13	福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23号３番地	
統合先進医学専攻（博士課程）	4	25	－	100	博士（医学）	0.87	0.80	－	平成25	同上	
先端応用医学専攻（博士課程）	4	－	－	－	博士（医学）	－	－	－	平成20	同上	平成25年度より学生募集停止
工学研究科											
産業創成工学専攻（博士前期課程）	2	85	－	170	修士（工学）	1.06	1.07	－	令和2	福井県福井市文京３丁目９番１号	
安全社会基盤工学専攻（博士前期課程）	2	84	－	168	修士（工学）	1.04	1.00	－	令和2	同上	
知識社会基礎工学専攻（博士前期課程）	2	84	－	168	修士（工学）	1.13	1.13	－	令和2	同上	
情報・ﾒﾃﾞｨｱ工学専攻（博士前期課程）	2	－	－	－	修士（工学）	－	－	－	平成15	同上	令和２年度より学生募集停止
建築建設工学専攻（博士前期課程）	2	－	－	－	修士（工学）	－	－	－	平成15	同上	令和２年度より学生募集停止
物理工学専攻（博士前期課程）	2	－	－	－	修士（工学）	－	－	－	平成15	同上	令和２年度より学生募集停止
知能ｼｽﾃﾑ工学専攻（博士前期課程）	2	－	－	－	修士（工学）	－	－	－	平成15	同上	令和２年度より学生募集停止
繊維先端工学専攻（博士前期課程）	2	－	－	－	修士（工学）	－	－	－	平成25	同上	令和２年度より学生募集停止
原子力・ｴﾈﾙｷﾞｰ安全工学専攻（博士前期課程）	2	－	－	－	修士（工学）	－	－	－	平成16	同上	令和２年度より学生募集停止

総合創成工学専攻 （博士後期課程）	3	22	－	66	博士 （工学）	0.87	0.90	－	平成25	同上	
国際地域マネジメント研究科 国際地域 マネジメント専攻 （専門職学位課程）	2	7	－	14	国際地域 マネジメント修士 （専門職）	1.14	1.14	－	令和2	福井県福井市文京３丁目９番１号	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。
（専攻科及び別科を除く）。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和３年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

５　教員組織の状況

表が複数ページになる場合は、全てのページに表の見出しを入れてください。

【認可時又は届出時】から【令和3年度】までの表が1ページの幅に入るように設定していますので、セルの列の幅は変えないでください。なお、5年以上の修業年限の学部等や完成年度後の報告で、6つ以上の表を報告しなければならない場合はご相談ください。

＜工学研究科　安全社会基盤工学専攻＞

（１）ー① 担当教員表

国立大学法人 福井大学

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	太田　淳一 ＜令和２年４月＞ 工学博士	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ エネルギー概論　※ エネルギー輸送 （研究指導）
専	教授	鞍谷　文保 ＜令和２年４月＞ 工学博士	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ 構造振動解析 （研究指導）
専	教授	永井　二郎 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全社会基盤工学特別講義Ⅰ 安全社会基盤工学特別講義Ⅱ エネルギー概論　※ 熱事象・エネルギーシステム （研究指導）
専	教授	山田　泰弘 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ 機械システム工学 （研究指導）
専	教授	小原　敦美 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ エネルギー概論　※ システム制御論 （研究指導）
専	教授	葛原　正明 ＜令和２年４月＞ 工学博士	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 半導体デバイス （研究指導）

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	太田　淳一 ＜令和２年４月＞ 工学博士	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ エネルギー概論　※ エネルギー輸送 （研究指導）
専	教授	鞍谷　文保 ＜令和２年４月＞ 工学博士	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ 構造振動解析 （研究指導）
専	教授	永井　二郎 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全社会基盤工学特別講義Ⅰ 安全社会基盤工学特別講義Ⅱ エネルギー概論　※ 熱事象・エネルギーシステム （研究指導）
専	教授	山田　泰弘 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ 機械システム工学 （研究指導）
専	教授	小原　敦美 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ エネルギー概論　※ システム制御論 （研究指導）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	橋本　明弘 ＜令和２年４月＞ 工学博士	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ エネルギー概論　※ エネルギー工学特論 （研究指導）
専	教授	廣瀬　勝一 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 暗号と情報セキュリティ （研究指導）
専	教授	福井　一俊 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 電子物性特論 （研究指導）
専	教授	明石　行生 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ 光環境工学特論 （研究指導）
専	教授	石川　浩一郎 ＜令和２年４月＞ 工学博士	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ 建築耐震構造解析学 （研究指導）
専	教授	磯　雅人 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ 建築構造設計学 （研究指導）
専	教授	小嶋　啓介 ＜令和２年４月＞ 工学博士	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 地震工学特論 （研究指導）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	橋本　明弘 ＜令和２年４月＞ 工学博士	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ エネルギー概論　※ エネルギー工学特論 （研究指導）
専	教授	廣瀬　勝一 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 暗号と情報セキュリティ （研究指導）
専	教授	福井　一俊 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 電子物性特論 （研究指導）
専	教授	明石　行生 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ 光環境工学特論 （研究指導）
専	教授	石川　浩一郎 ＜令和２年４月＞ 工学博士	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ 建築耐震構造解析学 （研究指導）
専	教授	磯　雅人 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ 建築構造設計学 （研究指導）
専	教授	小嶋　啓介 ＜令和２年４月＞ 工学博士	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 地震工学特論 （研究指導）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	橋本　明弘 ＜令和２年４月＞ 工学博士	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ エネルギー概論　※ エネルギー工学特論 （研究指導）
専	教授	廣瀬　勝一 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 暗号と情報セキュリティ （研究指導）
専	教授	福井　一俊 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 電子物性特論 （研究指導）
専	教授	明石　行生 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ 光環境工学特論 （研究指導）
専	教授	石川　浩一郎 ＜令和２年４月＞ 工学博士	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ 建築耐震構造解析学 （研究指導）
専	教授	磯　雅人 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ 建築構造設計学 （研究指導）
専	教授	小嶋　啓介 ＜令和２年４月＞ 工学博士	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 地震工学特論 （研究指導）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	野嶋　慎二 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 都市計画特論 （研究指導）
専	教授	川本　義海 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 原子力の安全性と地域共生　※ 安全設計概論　※ 交通論 （研究指導）
専	教授	桑水流　理 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ プラント安全工学基礎Ⅰ　※ プラント安全工学基礎Ⅱ　※ 原子力の安全性と地域共生　※ 原子力プラント設計工学 リスクマネージメント概論　※ （研究指導）
専	教授	玉川　洋一 ＜令和２年４月＞ 理学博士	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 放射線基礎Ⅱ　※ 放射線物理学・計測学　※ 放射線利用　※ 原子力工学基礎Ⅰ　※ （研究指導）
専	教授	飯井　俊行 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ 破壊力学 破壊力学実習 （研究指導）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	野嶋　慎二 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 都市計画特論 （研究指導）
専	教授	川本　義海 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 原子力の安全性と地域共生 ※ 安全設計概論　※ 交通論 （研究指導）
専	教授	桑水流　理 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ プラント安全工学基礎Ⅰ　※ プラント安全工学基礎Ⅱ　※ 原子力の安全性と地域共生 ※ 原子力プラント設計工学 リスクマネージメント概論 ※ （研究指導）
専	教授	玉川　洋一 ＜令和２年４月＞ 理学博士	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 放射線基礎Ⅱ　※ 放射線物理学・計測学　※ 放射線利用　※ 原子力工学基礎Ⅰ　※ （研究指導）
専	教授	飯井　俊行 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ 破壊力学 破壊力学実習 （研究指導）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	野嶋　慎二 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 都市計画特論 （研究指導）
専	教授	川本　義海 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 原子力の安全性と地域共生 ※ 安全設計概論　※ 交通論 （研究指導）
専	教授	桑水流　理 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ プラント安全工学基礎Ⅰ ※ プラント安全工学基礎Ⅱ ※ 原子力の安全性と地域共生 ※ 原子力プラント設計工学 リスクマネージメント概論 ※ （研究指導）
専	教授	玉川　洋一 ＜令和２年４月＞ 理学博士	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 放射線基礎Ⅱ　※ 放射線物理学・計測学　※ 放射線利用　※ 原子力工学基礎Ⅰ　※ （研究指導）
専	教授	飯井　俊行 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ 破壊力学 破壊力学実習 （研究指導）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	有田　裕二 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 原子炉システム基礎Ⅰ　※ 原子炉システム基礎Ⅱ　※ 核燃料工学特論　※ リスクマネージメント概論　※ 原子力・エネルギー法規 原子力工学基礎Ⅰ　※ 原子力工学基礎Ⅱ　※ （研究指導）
専	教授	泉　佳伸 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 放射線基礎Ⅰ 放射化学特論 放射線化学・生物学特論　※ 放射線利用　※ 原子力工学基礎Ⅰ　※ （研究指導）
専	教授	宇埜　正美 ＜令和２年４月＞ 工学博士	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 原子炉システム基礎Ⅰ　※ 原子炉システム基礎Ⅱ　※ 核燃料工学特論　※ リスクマネージメント概論　※ 原子力工学基礎Ⅱ　※ （研究指導）
専	教授	福元　謙一 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 原子炉システム基礎Ⅰ　※ 原子炉システム基礎Ⅱ　※ 原子力材料学特論 リスクマネージメント概論　※ 原子力工学基礎Ⅰ　※ （研究指導）
専	教授	安田　仲宏 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 原子力規制 放射線基礎Ⅱ　※ 原子力防災特論　※ 放射線利用　※ 原子力工学基礎Ⅰ　※ （研究指導）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	有田　裕二 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 原子炉システム基礎Ⅰ　※ 原子炉システム基礎Ⅱ　※ 核燃料工学特論　※ リスクマネージメント概論　※ 原子力・エネルギー法規 原子力工学基礎Ⅰ　※ 原子力工学基礎Ⅱ　※ （研究指導）
専	教授	泉　佳伸 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 放射線基礎Ⅰ 放射化学特論 放射線化学・生物学特論　※ 放射線利用　※ 原子力工学基礎Ⅰ　※ （研究指導）
専	教授	宇埜　正美 ＜令和２年４月＞ 工学博士	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 原子炉システム基礎Ⅰ　※ 原子炉システム基礎Ⅱ　※ 核燃料工学特論　※ リスクマネージメント概論　※ 原子力工学基礎Ⅱ　※ （研究指導）
専	教授	福元　謙一 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 原子炉システム基礎Ⅰ　※ 原子炉システム基礎Ⅱ　※ 原子力材料学特論 リスクマネージメント概論　※ 原子力工学基礎Ⅰ　※ （研究指導）
専	教授	安田　仲宏 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 原子力規制 放射線基礎Ⅱ　※ 原子力防災特論　※ 放射線利用　※ 原子力工学基礎Ⅰ　※ （研究指導）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	有田　裕二 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 原子炉システム基礎Ⅰ　※ 原子炉システム基礎Ⅱ　※ 核燃料工学特論　※ リスクマネージメント概論　※ 原子力・エネルギー法規 原子力工学基礎Ⅰ　※ 原子力工学基礎Ⅱ　※ （研究指導）
専	教授	泉　佳伸 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 放射線基礎Ⅰ 放射化学特論 放射線化学・生物学特論　※ 放射線利用　※ 原子力工学基礎Ⅰ　※ （研究指導）
専	教授	宇埜　正美 ＜令和２年４月＞ 工学博士	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 原子炉システム基礎Ⅰ　※ 原子炉システム基礎Ⅱ　※ 核燃料工学特論　※ リスクマネージメント概論　※ 原子力工学基礎Ⅱ　※ （研究指導）
専	教授	福元　謙一 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 原子炉システム基礎Ⅰ　※ 原子炉システム基礎Ⅱ　※ 原子力材料学特論 リスクマネージメント概論　※ 原子力工学基礎Ⅰ　※ （研究指導）
専	教授	安田　仲宏 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 原子力規制 放射線基礎Ⅱ　※ 原子力防災特論　※ 放射線利用　※ 原子力工学基礎Ⅰ　※ （研究指導）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	渡辺　正 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 原子炉システム基礎Ⅰ　※ 原子炉システム基礎Ⅱ　※ 熱水力安全工学　※ リスクマネージメント概論　※ （研究指導）
専	教授	沖　昌也 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	長期インターンシップ
専	教授	高木　丈夫 ＜令和２年４月＞ 理学博士	大学院海外短期インターンシップⅠ 大学院海外短期インターンシップⅡ
専	教授	小西　慶幸 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
専	准教授	太田　貴士 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ エネルギー概論　※ 数値流体力学 （研究指導）
専	准教授	川井　昌之 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ ロボット工学 （研究指導）
専	准教授	川谷　亮治 ＜令和２年４月＞ 工学博士	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ 計算機援用制御系設計 （研究指導）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	渡辺　正 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 原子炉システム基礎Ⅰ　※ 原子炉システム基礎Ⅱ　※ 熱水力安全工学　※ リスクマネージメント概論 ※ （研究指導）
専	教授	沖　昌也 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	長期インターンシップ
専	教授	高木　丈夫 ＜令和２年４月＞ 理学博士	大学院海外短期インターンシップⅠ 大学院海外短期インターンシップⅡ
専	教授	小西　慶幸 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
専	准教授	太田　貴士 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ エネルギー概論　※ 数値流体力学 （研究指導）
専	准教授	川井　昌之 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ ロボット工学 （研究指導）
専	准教授	川谷　亮治 ＜令和２年４月＞ 工学博士	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ 計算機援用制御系設計 （研究指導）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	渡辺　正 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 原子炉システム基礎Ⅰ　※ 原子炉システム基礎Ⅱ　※ 熱水力安全工学　※ リスクマネージメント概論 ※ （研究指導）
専	教授	高木　丈夫 ＜令和２年４月＞ 理学博士	大学院海外短期インターンシップⅠ 大学院海外短期インターンシップⅡ
専	教授	小西　慶幸 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
専	教授	藤元　美俊 ＜令和３年４月＞ 博士（工学）	長期インターンシップ
専	准教授	太田　貴士 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ エネルギー概論　※ 数値流体力学 （研究指導）
専	准教授	川井　昌之 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ ロボット工学 （研究指導）
専	准教授	川谷　亮治 ＜令和２年４月＞ 工学博士	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ 計算機援用制御系設計 （研究指導）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	酒井　康行 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ エネルギー概論　※ 燃焼工学 （研究指導）
専	准教授	田中　太 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ エネルギー概論　※ 安全安心の熱流体工学 （研究指導）
専	准教授	王　栄龍 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ システム工学特論 （研究指導）
専	准教授	坂口　文則 ＜令和２年４月＞ 工学博士	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 信号処理特論 （研究指導）
専	准教授	茂呂　征一郎 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 回路・システム論 （研究指導）
専	准教授	木村　欣司 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 計算科学 （研究指導）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	酒井　康行 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ エネルギー概論　※ 燃焼工学 （研究指導）
専	准教授	田中　太 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ エネルギー概論　※ 安全安心の熱流体工学 （研究指導）
専	准教授	王　栄龍 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ システム工学特論 （研究指導）
専	准教授	坂口　文則 ＜令和２年４月＞ 工学博士	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 信号処理特論 （研究指導）
専	准教授	茂呂　征一郎 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 回路・システム論 （研究指導）
専	准教授	木村　欣司 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 計算科学 （研究指導）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	酒井　康行 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	燃焼工学
専	教授	田中　太 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ エネルギー概論　※ 安全安心の熱流体工学 （研究指導）
専	准教授	王　栄龍 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ システム工学特論 （研究指導）
専	准教授	坂口　文則 ＜令和２年４月＞ 工学博士	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 信号処理特論 （研究指導）
専	准教授	茂呂　征一郎 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 回路・システム論 （研究指導）
専	准教授	木村　欣司 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 計算科学 （研究指導）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	伊藤　雅一 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ エネルギー概論　※ パワーエレクトロニクス特論 （研究指導）
専	准教授	Asubar Joel Tacla ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ （研究指導）
専	准教授	井上　圭一 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 建築弾塑性力学 （研究指導）
専	准教授	菊地　吉信 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 都市論 （研究指導）
専	准教授	木曽(本多)久美子 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	社会インフラ概論　※ 建築計画学特論
専	准教授	鈴木　啓悟 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 土木構造特論 原子力の安全性と地域共生　※ （研究指導）
専	准教授	原田（山形）陽子 ＜令和２年４月＞ 博士（芸術工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 建築都市計画特論 （研究指導）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	伊藤　雅一 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ エネルギー概論　※ パワーエレクトロニクス特論 （研究指導）
専	准教授	Asubar Joel Tacla ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ **半導体デバイス** （研究指導）
専	准教授	井上　圭一 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 建築弾塑性力学 （研究指導）
専	准教授	菊地　吉信 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 都市論 （研究指導）
専	准教授	木曽(本多)久美子 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	社会インフラ概論　※ 建築計画学特論
専	准教授	鈴木　啓悟 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 土木構造特論 原子力の安全性と地域共生 ※ （研究指導）
専	准教授	原田（山形）陽子 ＜令和２年４月＞ 博士（芸術工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 建築都市計画特論 （研究指導）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	伊藤　雅一 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ エネルギー概論　※ パワーエレクトロニクス特論 （研究指導）
専	准教授	Asubar Joel Tacla ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ **半導体デバイス** （研究指導）
専	准教授	井上　圭一 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 建築弾塑性力学 （研究指導）
専	准教授	菊地　吉信 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 都市論 （研究指導）
専	准教授	鈴木　啓悟 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 土木構造特論 原子力の安全性と地域共生 ※ （研究指導）
専	准教授	原田（山形）陽子 ＜令和２年４月＞ 博士（芸術工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 建築都市計画特論 （研究指導）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	川崎　大介 ＜令和２年４月＞ Ph.D.（米国）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 核燃料サイクル実習 プラント安全工学基礎Ⅰ　※ プラント安全工学基礎Ⅱ　※ リスクマネージメント概論　※ リスク評価特論 廃止措置・廃棄物管理工学 （研究指導）
専	准教授	大堀　道広 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ プラント安全工学基礎Ⅰ　※ リスクマネージメント概論　※ 原子力防災特論　※ 原子力・耐震耐津波工学特論 （研究指導）
専	准教授	Van Rooijen Willem Frederik Geert ＜令和２年４月＞ Ph.D.（蘭国）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 原子炉システム基礎Ⅰ　※ 原子炉システム基礎Ⅱ　※ 原子炉実習 原子炉物理学 次世代炉システム　※ リスクマネージメント概論　※ （研究指導）
専	准教授	寺田　聡 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	生命複合科学特論Ⅰ　※ ＰＢＬⅠ ＰＢＬⅡ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	川崎　大介 ＜令和２年４月＞ Ph.D.（米国）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 核燃料サイクル実習 プラント安全工学基礎Ⅰ　※ プラント安全工学基礎Ⅱ　※ リスクマネージメント概論 ※ リスク評価特論 廃止措置・廃棄物管理工学 （研究指導）
専	准教授	大堀　道広 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ プラント安全工学基礎Ⅰ　※ リスクマネージメント概論 ※ 原子力防災特論　※ 原子力・耐震耐津波工学特論 （研究指導）
専	准教授	Van Rooijen Willem Frederik Geert ＜令和２年４月＞ Ph.D.（蘭国）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 原子炉システム基礎Ⅰ　※ 原子炉システム基礎Ⅱ　※ 原子炉実習 原子炉物理学 次世代炉システム　※ リスクマネージメント概論 ※ （研究指導）
専	准教授	寺田　聡 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	生命複合科学特論Ⅰ　※ ＰＢＬⅠ ＰＢＬⅡ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	川崎　大介 ＜令和２年４月＞ Ph.D.（米国）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 核燃料サイクル実習 プラント安全工学基礎Ⅰ ※ プラント安全工学基礎Ⅱ ※ リスクマネージメント概論 ※ リスク評価特論 廃止措置・廃棄物管理工学 （研究指導）
専	准教授	大堀　道広 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ プラント安全工学基礎Ⅰ ※ リスクマネージメント概論 ※ 原子力防災特論　※ 原子力・耐震耐津波工学特論 （研究指導）
専	准教授	Van Rooijen Willem Frederik Geert ＜令和２年４月＞ Ph.D.（蘭国）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 原子炉システム基礎Ⅰ　※ 原子炉システム基礎Ⅱ　※ 原子炉実習 原子炉物理学 次世代炉システム　※ リスクマネージメント概論 ※ （研究指導）
専	准教授	寺田　聡 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	生命複合科学特論Ⅰ　※ ＰＢＬⅠ ＰＢＬⅡ
専	**准教授**	**伊藤　慎吾** **＜令和３年４月＞** **Dr.techn.**	**安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ** **安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ** **安全社会基盤工学ゼミナールⅠ** **安全社会基盤工学ゼミナールⅡ** **（研究指導）**
専	**准教授**	**党　超鈺** **＜令和３年４月＞** **博士（工学）**	**安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ** **安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ** **安全社会基盤工学ゼミナールⅠ** **安全社会基盤工学ゼミナールⅡ** **エネルギー輸送** **（研究指導）**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	福島　啓悟 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	エネルギー概論　※ 統計力学
専	講師	吉田　達哉 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全設計概論　※ 機械動力学
専	講師	西本　雅人 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	建築インターンシップ 安全設計概論　※ 建築都市設計論
専	講師	藤本　明宏 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ 地盤解析学 （研究指導）
専	講師	本間　礼人 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	社会インフラ概論　※ 構造材料学
専	講師	桃井　良尚 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ 建築換気力学 （研究指導）
専	講師	山田　岳晴 ＜令和２年４月＞ 博士（文学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 日本建築史特論 （研究指導）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	福島　啓悟 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	エネルギー概論　※ 統計力学
専	講師	吉田　達哉 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全設計概論　※ 機械動力学
専	講師	西本　雅人 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	建築インターンシップ 安全設計概論　※ 建築都市設計論
専	講師	藤本　明宏 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ 地盤解析学 （研究指導）
専	講師	本間　礼人 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	社会インフラ概論　※ 構造材料学
専	講師	桃井　良尚 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ 建築換気力学 （研究指導）
専	講師	山田　岳晴 ＜令和２年４月＞ 博士（文学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 日本建築史特論 （研究指導）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	福島　啓悟 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	エネルギー概論　※ 統計力学
専	准教授	吉田　達哉 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ 機械動力学 （研究指導）
専	講師	西本　雅人 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 建築インターンシップ 安全設計概論　※ 建築都市設計論 （研究指導）
専	准教授	藤本　明宏 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ 地盤解析学 （研究指導）
専	講師	本間　礼人 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	社会インフラ概論　※ 構造材料学
専	講師	桃井　良尚 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 安全設計概論　※ 建築換気力学 （研究指導）
専	講師	山田　岳晴 ＜令和２年４月＞ 博士（文学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 社会インフラ概論　※ 日本建築史特論 （研究指導）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	中島　恭平 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 原子炉実習 放射線物理学・計測学　※ 原子力工学基礎Ⅰ　※ （研究指導）
専	講師	松尾　陽一郎 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ リスクマネージメント概論　※ 放射線基礎Ⅱ　※ 放射線化学・生物学特論　※ 放射線利用　※ 原子力工学基礎Ⅰ　※ （研究指導）
専	助教	田邉　英彦 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	社会インフラ概論　※ 計算機工学特論
専	助教	重信　颯人 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ エネルギー概論　※ 電力システム （研究指導）
専	助教	寺﨑　寛章 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全設計概論　※ 環境水理学
専	助教	浅野　周平 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	国土・地域計画特論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	中島　恭平 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 原子炉実習 放射線物理学・計測学　※ 原子力工学基礎Ⅰ　※ （研究指導）
専	准教授	松尾　陽一郎 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ リスクマネージメント概論 ※ 放射線基礎Ⅱ　※ 放射線化学・生物学特論　※ 放射線利用　※ 原子力工学基礎Ⅰ　※ （研究指導）
専	助教	田邉　英彦 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	社会インフラ概論　※ 計算機工学特論
専	助教	重信　颯人 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ エネルギー概論　※ 電力システム （研究指導）
専	助教	寺﨑　寛章 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全設計概論　※ 環境水理学
専	助教	浅野　周平 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	国土・地域計画特論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	中島　恭平 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ 原子炉実習 放射線物理学・計測学　※ 原子力工学基礎Ⅰ　※ （研究指導）
専	准教授	松尾　陽一郎 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ リスクマネージメント概論 ※ 放射線基礎Ⅱ　※ 放射線化学・生物学特論 ※ 放射線利用　※ 原子力工学基礎Ⅰ　※ （研究指導）
専	助教	田邉　英彦 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	社会インフラ概論　※ 計算機工学特論
専	助教	重信　颯人 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ 安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ 安全社会基盤工学ゼミナールⅡ エネルギー概論　※ 電力システム （研究指導）
専	講師	寺﨑　寛章 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	**安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ** **安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ** **安全社会基盤工学ゼミナールⅠ** **安全社会基盤工学ゼミナールⅡ** 安全設計概論　※ 環境水理学 **（研究指導）**
専	助教	浅野　周平 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	国土・地域計画特論
専	助教	**石垣　将宏** **＜令和３年４月＞** **博士（工学）**	**安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ** **安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ** **安全社会基盤工学ゼミナールⅠ** **安全社会基盤工学ゼミナールⅡ** **（研究指導）**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	虎尾　憲史 ＜令和２年４月＞ 修士（国際学）	工業日本語特論Ⅰ 工業日本語特論Ⅱ
兼担	教授	松岡　達 ＜令和２年４月＞ 医学博士	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	教授	藤井　豊 ＜令和２年４月＞ 薬学博士	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	教授	菅井　学 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	教授	松本　英樹 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	教授	安倍　博 ＜令和２年４月＞ 医学博士	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	教授	石塚　全 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	教授	青木　耕史 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	教授	山田　雅己 ＜令和２年10月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	教授	大嶋　勇成 ＜令和２年10月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	教授	深澤　有吾 ＜令和２年10月＞ 博士（理学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	教授	松﨑　秀夫 ＜令和２年10月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅱ　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	虎尾　憲史 ＜令和２年４月＞ 修士（国際学）	工業日本語特論Ⅰ 工業日本語特論Ⅱ
兼担	教授	松岡　達 ＜令和２年４月＞ 医学博士	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	教授	藤井　豊 ＜令和２年４月＞ 薬学博士	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	教授	菅井　学 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	教授	松本　英樹 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	教授	安倍　博 ＜令和２年４月＞ 医学博士	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	教授	石塚　全 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	教授	青木　耕史 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	教授	山田　雅己 ＜令和２年10月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	教授	大嶋　勇成 ＜令和２年10月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	教授	深澤　有吾 ＜令和２年10月＞ 博士（理学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	教授	松﨑　秀夫 ＜令和２年10月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	**教授**	**小林　基弘** **＜令和２年10月＞** **博士（医学）**	**生命複合科学特論Ⅱ　※**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	虎尾　憲史 ＜令和２年４月＞ 修士（国際学）	工業日本語特論Ⅰ 工業日本語特論Ⅱ
兼担	教授	松岡　達 ＜令和２年４月＞ 医学博士	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼任	**講師**	藤井　豊 ＜令和２年４月＞ 薬学博士	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	教授	菅井　学 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼任	**講師**	松本　英樹 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	教授	安倍　博 ＜令和２年４月＞ 医学博士	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	教授	石塚　全 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	教授	青木　耕史 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	教授	山田　雅己 ＜令和２年10月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	教授	大嶋　勇成 ＜令和２年10月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	教授	深澤　有吾 ＜令和２年10月＞ 博士（理学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	教授	松﨑　秀夫 ＜令和２年10月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	**教授**	**小林　基弘** **＜令和２年10月＞** **博士（医学）**	**生命複合科学特論Ⅱ　※**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	牧野　顕 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	准教授	西住　裕文 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	准教授	千原　一泰 ＜令和２年４月＞ 博士（ﾊﾞｲｵｻｲｴﾝｽ）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	准教授	法木　左近 ＜令和２年４月＞ 医学博士	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	准教授	西沢　徹 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	准教授	徳永　暁憲 ＜令和２年10月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	准教授	北井　隆平 ＜令和２年10月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	准教授	成田　憲彦 ＜令和２年10月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	准教授	小久保　安朗 ＜令和２年10月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	講師	折坂　誠 ＜令和２年10月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	助教	竹内　健司 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	助教	本田　信治 ＜令和２年10月＞ 博士（理学）	生命複合科学特論Ⅱ　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	**教授**	**菊田　健一郎** **＜令和２年10月＞** **博士（医学）**	**生命複合科学特論Ⅱ　※**
兼担	准教授	牧野　顕 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	准教授	西住　裕文 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	准教授	千原　一泰 ＜令和２年４月＞ 博士（ﾊﾞｲｵｻｲｴﾝｽ）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	**教授**	西沢　徹 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	准教授	徳永　暁憲 ＜令和２年10月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	准教授	成田　憲彦 ＜令和２年10月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	准教授	小久保　安朗 ＜令和２年10月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	講師	折坂　誠 ＜令和２年10月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	助教	竹内　健司 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	助教	本田　信治 **＜令和２年４月＞** 博士（理学）	**生命複合科学特論Ⅰ　※**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	**教授**	**菊田　健一郎** **＜令和２年10月＞** **博士（医学）**	**生命複合科学特論Ⅱ　※**
兼担	准教授	牧野　顕 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	准教授	西住　裕文 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	准教授	千原　一泰 ＜令和２年４月＞ 博士（ﾊﾞｲｵｻｲｴﾝｽ）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	**教授**	西沢　徹 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	准教授	徳永　暁憲 ＜令和２年10月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	准教授	成田　憲彦 ＜令和２年10月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	准教授	小久保　安朗 ＜令和２年10月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	講師	折坂　誠 ＜令和２年10月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	助教	竹内　健司 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼担	助教	本田　信治 **＜令和２年４月＞** 博士（理学）	**生命複合科学特論Ⅰ　※**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	助教	辻　隆宏 ＜令和２年10月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	特命助教	島田　浩二 ＜令和２年10月＞ 博士（理学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	特命助教	山口　朋子 ＜令和２年10月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼任	講師	片山　寛次 ＜令和２年４月＞ 医学博士	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼任	講師	老木　成稔 ＜令和２年４月＞ 医学博士	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼任	講師	菅野　雅代 ＜令和２年４月＞ Master of Arts (Major: TESOL)(英国)	科学英語表現Ⅰ 科学英語表現Ⅱ 科学英語特別講義
兼任	講師	Butler-Tanaka, Paul ＜令和２年４月＞ Master of Arts (Major: T.E.F.L)(米国)	科学英語コミュニケーションⅠ 科学英語コミュニケーションⅡ 科学英語表現Ⅱ
兼任	講師	James Wesley Gray ＜令和２年４月＞ 博士(応用言語学)	科学英語コミュニケーションⅠ 科学英語コミュニケーションⅡ 科学英語特別講義
兼任	講師	Mihalache Iulia Corina ＜令和２年４月＞ 学士(生物物理)	科学英語コミュニケーションⅠ 科学英語表現Ⅱ
兼任	講師	長谷川　和男 ＜令和２年４月＞ 工学博士	量子エネルギー応用論　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	助教	辻　隆宏 ＜令和２年10月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	助教	島田　浩二 ＜令和２年10月＞ 博士（理学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	**助教**	**坪川　操** **＜令和２年10月＞** **博士（医学）**	**生命複合科学特論Ⅱ　※**
兼任	講師	片山　寛次 ＜令和２年４月＞ 医学博士	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	**特命教授**	老木　成稔 ＜令和２年４月＞ 医学博士	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼任	講師	菅野　雅代 ＜令和２年４月＞ Master of Arts (Major: TESOL)(英国)	科学英語表現Ⅰ 科学英語表現Ⅱ 科学英語特別講義
兼任	講師	Butler-Tanaka, Paul ＜令和２年４月＞ Master of Arts (Major: T.E.F.L)(米国)	科学英語コミュニケーションⅠ 科学英語コミュニケーションⅡ 科学英語表現Ⅱ
兼任	講師	James Wesley Gray ＜令和２年４月＞ 博士(応用言語学)	科学英語コミュニケーションⅠ 科学英語コミュニケーションⅡ 科学英語特別講義
兼任	講師	Mihalache Iulia Corina ＜令和２年４月＞ 学士(生物物理)	科学英語コミュニケーションⅠ 科学英語表現Ⅱ **科学英語コミュニケーションⅡ**
兼任	講師	長谷川　和男 ＜令和２年４月＞ 工学博士	量子エネルギー応用論　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	助教	辻　隆宏 ＜令和２年10月＞ 博士（医学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	助教	島田　浩二 ＜令和２年10月＞ 博士（理学）	生命複合科学特論Ⅱ　※
兼担	**助教**	**坪川　操** **＜令和２年10月＞** **博士（医学）**	**生命複合科学特論Ⅱ　※**
兼担	**助教**	**知野　剛直** **＜令和３年10月＞** **博士（医学）**	**生命複合科学特論Ⅱ　※**
兼担	**特命教授**	老木　成稔 ＜令和２年４月＞ 医学博士	生命複合科学特論Ⅰ　※
兼任	講師	菅野　雅代 ＜令和２年４月＞ Master of Arts (Major: TESOL)(英国)	科学英語表現Ⅰ 科学英語表現Ⅱ 科学英語特別講義
兼任	講師	Butler-Tanaka, Paul ＜令和２年４月＞ Master of Arts (Major: T.E.F.L)(米国)	科学英語コミュニケーションⅠ 科学英語コミュニケーションⅡ 科学英語表現Ⅱ
兼任	講師	James Wesley Gray ＜令和２年４月＞ 博士(応用言語学)	科学英語コミュニケーションⅠ 科学英語コミュニケーションⅡ 科学英語特別講義
兼任	講師	Mihalache Iulia Corina ＜令和２年４月＞ 学士(生物物理)	科学英語コミュニケーションⅠ 科学英語表現Ⅱ **科学英語コミュニケーションⅡ**
兼任	講師	長谷川　和男 ＜令和２年４月＞ 工学博士	量子エネルギー応用論　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	月森　和之 ＜令和２年４月＞ 工学博士	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	辻本　和文 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	西原　哲夫 ＜令和２年４月＞ 工学博士	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	吉田　啓之 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	呉田　昌俊 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	芳賀　芳範 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	西村　昭彦 ＜令和２年４月＞ 工学博士	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	金子　耕士 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	村松　壽晴 ＜令和２年４月＞ 工学博士	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	井口　幸弘 ＜令和２年４月＞ 工学博士	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	小山　真一 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	大平　博昭 ＜令和２年４月＞ 工学博士	量子エネルギー応用論　※ 次世代炉システム　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	月森　和之 ＜令和２年４月＞ 工学博士	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	辻本　和文 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	西原　哲夫 ＜令和２年４月＞ 工学博士	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	吉田　啓之 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	呉田　昌俊 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	芳賀　芳範 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	西村　昭彦 ＜令和２年４月＞ 工学博士	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	金子　耕士 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	村松　壽晴 ＜令和２年４月＞ 工学博士	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	井口　幸弘 ＜令和２年４月＞ 工学博士	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	小山　真一 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	大平　博昭 ＜令和２年４月＞ 工学博士	量子エネルギー応用論　※ 次世代炉システム　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	月森　和之 ＜令和２年４月＞ 工学博士	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	辻本　和文 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	西原　哲夫 ＜令和２年４月＞ 工学博士	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	吉田　啓之 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	呉田　昌俊 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	芳賀　芳範 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	西村　昭彦 ＜令和２年４月＞ 工学博士	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	金子　耕士 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	村松　壽晴 ＜令和２年４月＞ 工学博士	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	井口　幸弘 ＜令和２年４月＞ 工学博士	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	小山　真一 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	大平　博昭 ＜令和２年４月＞ 工学博士	量子エネルギー応用論　※ 次世代炉システム　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	宮原　信哉 ＜令和２年４月＞ 工学博士	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	歌野原　陽一 ＜令和２年10月＞ 工学博士	熱水力安全工学　※
兼任	講師	福谷　耕司 ＜令和２年10月＞ 工学博士	原子力プラント保全工学　※
兼任	講師	釜谷　昌幸 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	原子力プラント保全工学　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	宮原　信哉 ＜令和２年４月＞ 工学博士	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	歌野原　陽一 ＜令和２年10月＞ 工学博士	熱水力安全工学　※
兼任	講師	福谷　耕司 ＜令和２年10月＞ 工学博士	原子力プラント保全工学　※
兼任	講師	釜谷　昌幸 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	原子力プラント保全工学　※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	宮原　信哉 ＜令和２年４月＞ 工学博士	量子エネルギー応用論　※
兼任	講師	歌野原　陽一 ＜令和２年10月＞ 工学博士	熱水力安全工学　※
兼任	講師	福谷　耕司 ＜令和２年10月＞ 工学博士	原子力プラント保全工学 ※
兼任	講師	釜谷　昌幸 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	原子力プラント保全工学 ※

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和２年度】

・葛原正明教授の退職により、教員を見直し、「安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ」、「安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ」、「安全社会基盤工学ゼミナールⅠ」、「安全社会基盤工学ゼミナールⅡ」は複数名で担当のため、他の専任教員で補完し後任なし。
・葛原正明教授の退職により、教員を見直し、「半導体デバイス」をAsubar Joel Tacla准教授が担当。
・担当教員昇格のため、西沢徹准教授が教授に、松尾陽一郎講師が准教授に変更。
・事務的ミスが判明したため、川崎大介准教授を講師に訂正。
・教育効果向上のため、「科学英語コミュニケーションⅡ」について、Mihalache Iulia Corina兼任教員（講師）が追加担当。
・教員の退職により兼担教員の授業担当構成を変更。

【令和３年度】

・太田淳一教授、酒井康行准教授の退職により、教員を見直し、「安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ」、「安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ」、「安全社会基盤工学ゼミナールⅠ」、「安全社会基盤工学ゼミナールⅡ」は複数名で担当のため、他の専任教員で補完し後任なし。
・吉田達哉准教授、西本雅人講師、寺﨑寛章講師の研究指導担当資格の取得により、教員を見直し、「安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ」、「安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ」、「安全社会基盤工学ゼミナールⅠ」、「安全社会基盤工学ゼミナールⅡ」を追加担当。
・太田淳一教授、酒井康行准教授の退職により、教員を見直し、「エネルギー概論」は複数名で担当のため、他の専任教員で補完し後任なし。
・太田淳一教授の退職により、教員を見直し、「エネルギー輸送」を党超鋲准教授が担当。
・酒井康行准教授の退職により、「燃焼工学」を兼任教員（講師）として担当。
・木曽久美子准教授の退職により、教員を見直し、「社会インフラ概論」は複数名で担当のため、他の専任教員で補完し後任なし。
・伊藤慎吾准教授、党超鋲准教授、石垣将宏助教が専任教員に採用。
・担当教員昇格のため、田中太准教授が教授に、藤本明宏講師が准教授に、吉田達哉講師が准教授に、寺﨑寛章助教が講師に変更。
・インターンシップ担当組織の変更に伴い授業担当教員を見直し、「長期インターンシップ」の担当教員を変更。
・教員の退職により兼担教員、兼任教員の授業担当構成を変更。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（令和元年度開設であれば平成３０年度）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（２）ー①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
12 名	8 名	0 名

（注）・　大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

（２）ー②　専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A’）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B’）
27 (26)	20 (20)	9 (9)	4 (4)	60 (59)	0 (0)	26	21	8	4	59	0
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
51 [　51　]	9 [　8　]	0 [　0　]				55	4	0			
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C’）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D’）
26 [△1]	21 [1]	8 [△1]	4 [0]	59 [△1]	0 [0]	26 [△1]	21 [1]	8 [△1]	4 [0]	59 [△1]	0 [0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
55 [4]	4 [△5]	0 [　0　]				55 [4]	4 [△5]	0 [　0　]			

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

（２）ー③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）ー④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{59}{60} = \boxed{98.33}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）ー⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{59} = \boxed{0}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）ー⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\text{\#DIV/0!}}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）ー①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	葛原　正明	R2.3	必修	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ	①	R2.3.31付け退職のため就任辞退（２）
				必修	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ	①	
				選択	安全社会基盤工学ゼミナールⅠ	①	
				選択	安全社会基盤工学ゼミナールⅡ	①	
				選択	半導体デバイス	①	

合計（Ｄ）				後任補充状況の集計（Ｅ）					
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1　人	必修	2	科目	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	3	科目	選択	3 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	5	科目	計	5 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）ー②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）ー②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	木曽　久美子	R2.7	選択	社会インフラ概論	①	R2.7.31付け転任のため辞任（３）
				選択	建築計画学特論	③	
2	准教授	酒井　康行	R3.3	必修	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ	①	R3.3.31付け転任のため辞任（３）
				必修	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ	①	
				選択	安全社会基盤工学ゼミナールⅠ	①	
				選択	安全社会基盤工学ゼミナールⅡ	①	
				選択	エネルギー概論	①	
				選択	燃焼工学	②	
3	教授	沖　昌也	R3.3	選択	長期インターンシップ	①	R3.3.31付けインターンシップ担当組織の変更に伴い、授業担当教員を変更したため（３）

合計（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｇ）					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
3　人	必修	2	科目	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	7	科目	選択	5 科目	選択	1 科目	選択	1 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	9	科目	計	7 科目	計	1 科目	計	1 科目

（注）・　一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）ー③　上記（３）ー①　・　（３）ー②　の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）					
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
4　人	必修	4	科目	必修	4 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	10	科目	選択	8 科目	選択	1 科目	選択	1 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	14	科目	計	12 科目	計	1 科目	計	1 科目

（３）ー④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)ー③合計(D)+(F)}{(2)ー②設置時の計画(A)} = \frac{4}{60} = \boxed{6.66}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

3	人

（注）・（３）－①、（３）－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

（３）－⑥　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	太田　淳一	必修	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ	①	R3.3.31付け65歳で定年退職（３）
			必修	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ	①	
			選択	安全社会基盤工学ゼミナールⅠ	①	
			選択	安全社会基盤工学ゼミナールⅡ	①	
			選択	エネルギー概論	①	
			選択	エネルギー輸送	①	

合計				後任補充状況の集計							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
1　人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0 科目
	選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目	計	0 科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**について に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）　専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

担当科目については、他の専任教員で担当、補完しており、全体的な教育の質の確保はできているため、学生の履修上の影響はない。
学生へは、毎学期の時間割及びシラバスで周知している。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等	履　行　状　況	今後の の実施計画
	該当なし		

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜工学研究科　安全社会基盤工学専攻＞

（１） 設置計画変更事項等

国立大学法人 福井大学

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

① 実施体制

ａ　委員会の設置状況

【全学】福井大学高等教育推進センター　FD・教育企画部門会議

【工学部】福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

【全学】福井大学高等教育推進センター　FD・教育企画部門会議

令和２年度1回開催

委員構成：各学部委員，事務職員を含め９名

【工学部】福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会

令和２年度２回開催

委員構成：工学研究科長が指名した教員及び博士前期課程各コースから選出された教員　計11名

ｃ　委員会の審議事項等

●福井大学高等教育推進センターFD・教育企画部門会議

１）カリキュラムの調査・分析・検討，２）授業内容・方法の改善及び教材開発，３）GP等の教育プロジェクト，
４）e-learning・ICT利用教育及び双方向遠隔授業，５）教育に係る地域連携及び国際連携，
６）教育に係る評価及び教育評価法の開発，　７）その他センターが必要と認めた事項

●福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会

１）FDの企画及び実施に関すること，２）アクティブ・ラーニングに関すること，
３）カリキュラム評価アンケートに関すること，４）GPAデータのFDへの活用に関すること，
５）その他FDに関すること

② 実施状況

ａ　実施内容

●福井大学高等教育推進センターFD・教育企画部門会議

福井大学FD・SDシンポジウムの開催（１回）

●福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会

・FD通信（教員の教育に関する取組みを紹介するメルマガ。令和２年度は遠隔授業の取組みを中心に25回発行）

・FDランチタイムしゃべり場（教員間の意見交換会。令和２年度はオンラインで３回開催）

・FD研修会（令和２年度は対面及びオンライン会議形式で２回開催）

b　実施方法

●福井大学高等教育推進センターFD・教育企画部門会議

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、福井大学FD・SDシンポジウムをオンラインにて開催することを決定し、オンデマンド方式とオンライン会議形式を併用して実施した。

●福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会

・FD通信は、各コースの委員より寄稿を依頼し、委員長が取りまとめ、イントロ文を付けて25回配信した。

・FDランチタイム・しゃべり場は、各コース委員もしくは委員長より参加を依頼した教員、工学部執行部及び委員長が参加して、昼休みにオンラインにて実施した。

・FD研修会は、学生総合相談室と情報交換してタイムリーなトピックについて、教授会開催前の時間を利用して実施した。

c　開催状況（教員の参加状況含む）

・福井大学FD・SDシンポジウム「みんなで考えるオンライン授業 ～より良い大学教育を目指して～」

（令和２年９月14日）参加人数：101名

・FD研修会「アンガーマネジメント講座パート２ ～叱り方で変わる相手のやる気～」

（令和２年10月９日）参加人数：143名

・FD研修会「コロナ禍における学生相談 ー学生の現状とその支援についてー 」

（令和３年１月８日）　参加人数：143名

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・実施結果を踏まえて，令和３年度以降の授業改善等に役立てていく。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a　実施の有無及び実施時期

・福井大学の教育・研究に対する意識・満足度調査（令和２年度後期に実施）

b　教員や学生への公開状況、方法等

・学生の在学中及び卒業・修了にあたり、本学の教育・研究に対してどのような意識や満足感を持っているかを把握するアンケート（今後の必要な教育・研究環境等の整備・充実に役立てるため集計し教員等にフィードバックしている）

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（４） 自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和2年度に改組し、順調に進んでいる。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画通り実施していきたい。

②　自己点検・評価報告書

ａ　公表（予定）時期

・令和３年度に実施し、令和４年７月に公表予定

ｂ　公表方法

・自己点検・評価報告書を作成し、大学ホームページ上に公表予定

③　認証評価を受ける計画

・令和４年度に機関別認証評価を受審予定

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「②　自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（５） 情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書（令和３年度）

ａ　公表予定の有無　〔　有　・　無　〕

≪ａで「有」の場合≫

ｂ　公表（予定）時期　〔 調査結果公表後１ヶ月以内 ・ 公表後２～３ヶ月以内 ・ 公表後３ヶ月以降 〕

ｃ　公表方法　〔 ウェブサイトへの掲載 ・ その他（　　）〕

≪ａで公表「無」の場合≫

ｄ　公表しない理由　〔　　〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。